

第1回 開発霞ワークショップ

日時・場所

平成25年6月24日（月）15:00~17:00

東温市役所403会議室

重信川の現状把握

事務局より、開発霞周辺の現状や課題について説明を行いました。



ワークショップの進め方

ファシリテーターの二神先生よりワークショップについての説明がありました。



意見交換

今回のワークショップ参加メンバー18名が4班に分かれ、各班ごとに、開発霞の過去や現在の状況（環境面、利用面等）について情報交換を行いました。

また、開発霞の望ましい姿（あったらいいもの、ないほうがいいもの）についても意見交換を行い、抽出した意見をポストイットに記入し、各班ごとに意見集約を行いました。



意見発表および総括

各班で集約した意見について、代表者による発表が行われました。最後に、ファシリテーターの二神先生より、総括として以下のコメントを頂きました。

- よく使われているので、今の施設を壊して自然を再生するのではなく自然に配慮しつつ、むしろ今の施設をより使い勝手のよいものにする。
- 大きな問題は水を確保すること。年間を通じて水が流れていた昭和36年代のように、小川に水が確保されていること。
- 実際使っているのは地元の人ではなく、松山市を中心とする方が使われている。地元の人が使えそうな整備ということも大事である。



第1回 開発霞ワークショップ（現在の開発霞の課題）

課題① 水の確保が必要（昭和36年頃のように年間を通じて小川に水が流れていること）

- ・問題は水。水量がある程度維持できれば、それをベースに水路の形などを議論できるが、今の段階では議論しづらい。水量をどれだけ確保できるかにつくる。
- ・水が無いことによって生物がうまく生きていけない。
- ・水をどうやって確保できるかというのが、一番の問題。水が確保できれば、どういう水路にしていこうかという話になる。
- ・昭和36年頃は水がちゃんと流れていたの、そういう水路ができればいい。
- ・地下水位が地表から6mということは、かなり人為的コントロールを継続しないといけないだろう。
- ・水は必要だが、ここで水があるせせらぎを強引に作るというのは長い目で見て難しいのではないかと。
- ・5月あたりの田に水を入れる時期には水が無くなってしまっているので、水循環という意味ではあまり魅力的でない。
- ・年間を通じてある程度の水量が確保できれば、生物も入ってくるのではないかと。

課題② 既存施設の有効活用が必要（自然に配慮しつつ、今の施設をより使い勝手のよいものに）

- ・散策や散歩で遊んだり、バーベキューをしたりと多様な使い方をされている。
- ・今の使われ方を確保するというので、公園を多目的に利用できるようにする。
- ・多目的に利用すること、自然を整備することは分けることが必要。
- ・人を排除するような、閉鎖的な、自然に優しく人に厳しくというのは問題がある。
- ・植栽等を工夫して、自然に近づけながらも人が利用しやすい場所にしていくのが良い。
- ・工夫して子供が学べる場所を作りつつも、人をあまり排除しない水路にして欲しい。
- ・水があれば、鳥も来る。鳥が来るには実がなる木、どんぐりなどを植えれば良いだろう。
- ・自然では、ウマノスズクサをもう少し残し背を高くして、ジャコウアゲハがここで見られる。そして、蜜源植物も見られるような自由研究の広場みたいにしてはどうか。

課題③ 地域での活用を考えた整備が必要（現在の利用は、地元ではなく松山市を中心とする方が大半）

- ・現状では、地元の人あまり使わないが、松山など市街地からの利用者が多く、きれいなトイレがあり好評。
- ・昔は霞のところに桑畑があり、公園のあたりには雑木、松が生えていて、あまり子供たちの遊ぶ場所ではなかった。ただし、古泉から新泉あたりの水路ではウナギやモズガニ、ドジョウ、ナマズなどを獲っていた。
- ・現在子供は、ため池でブラックバスを釣っており、あまり生き物でここで遊んでいるという状況ではない。
- ・水路にゴミを捨てていくので、水門にゴミが溜まっていて、昔のようにウナギを獲る雰囲気ではない。
- ・人を呼ぶとしたら、ウナギやナマズが来るというようにすれば、人の目を引き付けられるだろう。
- ・実用的な竹を少し持っていけるというのであれば、地元の人参加も望めるのではないかと。

※枠内には、ワーキング委員の意見を記載。

2

第1回 開発霞ワークショップ

○各班の意見 【1班】

参加メンバー	集約意見（発表内容）	ワークショップ状況	
【1班】 愛媛県水産研究センター 清水さん（班長） 水をきれいにする会 武井さん 重信川美化推進の会 武智さん 重信川河川愛護モニター 中村さん	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、公園としてたくさんの方が訪れて利用している人気のある場所となっている。 ・人を排除するような、閉鎖的な、自然に優しく人に厳しくというのは問題がある。 ・植栽等を工夫して、自然に近づけながらも人が利用しやすい場所にしていくのが良い。 ・工夫して子供が学べる場所を作りつつ、人をあまり排除しない水路にして欲しい。 ・問題は水。水量がある程度維持できれば、それをベースに水路の形などを議論できるが、今の段階では議論しづらい。水量をどれだけ確保できるかにつくる。 		
ポストイトへの記載内容			
過去は？	<ul style="list-style-type: none"> ・地図をみると、周辺は水田地帯。 ・公園水路のような水の流れはあったの？ ・過去は地下水位が高く湿地だったのでは？ ・過去の写真で見える泉のようなものは？私有地か？ 	生物環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・魚は堤内地の水路も利用している（重信川では重要なこと）。 ・魚が今利用しているか気になる。 ・生物的にはかすみの森上流と下流をつなげた方が良さそう。 ・木が無いことが問題だが、多すぎてもこわい。 ・植栽の方に着目しても良いのでは？ ・魚的には、かすみの森下流に水を流しても意味がないかも。
現在	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、トイレがあり、どちらかという人を呼ぶ公園。 ・今はアキニレ林。 ・観察の場としてもちょっと弱い。 ・水路にはあまり魚がいない。 ・木陰の効果は他の自然再生箇所でも少ない。 ・公園としての整備。 ・赤坂泉では桜づつみ（メイン）があり、人が来る。 	希望など意見	<ul style="list-style-type: none"> ・佐川を暗渠などにして魚のすみかにはできないか？ ・今、人が多いのに自然を増やし過ぎるのは危惧がある。 ・子供が遊べる方が良い。・自然再生としては遊具はある？ ・植栽、水を増やして、子供が遊びやすいようにする。 ・新泉・古泉から水を通せないか？ ・開発霞の整備は人が使いやすいようにしても良いのでは？ ・開発霞周辺の本川に元々水が無いなら、堤内地に水を流すのも手（魚のネットワーク）。 ・事業実施にあたっては公園なのか？しっかりした自然再生なのか？ ・いやしの場所という選択もあり ・今、公園に来ている人に自然のサービスをプラスする。
水路について	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと水が流れてほしい（常時）。 ・もう少し魅力的な水路に。 ・多少曲がっていたり変化が欲しい。 ・何も無い所に水を通すなら林の間に水を通した方がよい。 ・今の水路では水の中で遊んでいない（遊べない）。 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・面河の水を利用している地域。 ・例えば、松原泉では、散歩をする人が多い。子供が少ないか。

第1回 開発霞ワークショップ

○各班の意見 【2班】

参加メンバー		集約意見（発表内容）	ワークショップ状況	
【2班】 愛媛大学 二神さん（班長） 日本野鳥の会愛媛 岩本さん 拝志小学校 篠崎さん 下林自治区 竹村さん 愛媛県 馬越さん		<ul style="list-style-type: none"> ・非常に人気があってよく使われている。 ・水が無いことによって生物がうまく生きていけない。 ・年間を通じてある程度の水量が確保できれば、生物も入ってくるのではないかと。 ・水があれば、鳥も来る。鳥が来るには実がなる木、どんぐりなどを植えればいいたろう。 ・まずは水をどうやって確保できるかというのが、一番の問題。水が確保できれば、どういう水路にしていこうかという話になる。 ・昭和 36 年頃は水がちゃんと流れていたの、そういう水路ができればいい。 	 	
ポストイトへの記載内容				
過去は？	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の開発霞は土砂が流れてきて島が出来ていた。 ・山にはかつてミカン畑があった（今は植林地に）。 ・戦時中燃料を採った跡が見られる。 ・マツがかつて見られた。 ・排水路の水質は昔と比べ良くなった。 ・電気ウナギを獲った。 ・プールが無いから川や泉で遊んだ。 ・昔、水の取り合いがあった記録がある。 	生物環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・木が生えれば鳥が来るようになる（実のなる木：ドングリの木、クロガネモチ）。 ・水が無ければ鳥は来ない（サギなど）。 ・今も鮎が上がってくることもある。 ・堰堤に石畳があるので魚が上がってきている。 	
現在	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の利用者は松山市民が中心。 ・グラウンドに駐車スペースを整備中。 ・実際には公園が美化されているとは言い難い。 	希望など意見	<ul style="list-style-type: none"> ・利水関係者にとって不都合にならないような仕組みができれば。 ・公園内で水を循環するシステムは？ ・公園に水を引いた後、農地で利用する仕組みがあればいい。 ・水を日常的に公園に引っ張ってくるようにする。 	
水路について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、飲料水は上水道（井戸水ではない）。 ・水は改良区が汲み上げて田で使われている。 ・水を汲み上げている土地や水の権利関係は不明。農業関係者と調整がつけば公園に引けるかもしれない。 ・下水道ができて、水はきれいになっている。 	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・橋脚に落書きがある。景観的に良くないのでは？ ・橋脚に赤や青の絵が描かれているがどうか。 ・（橋脚の絵は）落書きの防止では？ 	

4

第1回 開発霞ワークショップ

○各班の意見 【3班】

参加メンバー		集約意見（発表内容）	ワークショップ状況	
【3班】 松山東雲短期大学 松井さん（班長） 重信くらしの学習会 菊池さん 上村土地改良区 高市さん 東温市 丹生谷さん		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に、今のままで、いいんじゃないか。 ・散策や繁みで遊んだり、バーベキューをしたりと多様な使い方がされている。 ・今の使われ方を確保するというので、公園を多目的に利用できるようにする。 ・多目的に利用することと、自然を整備することは分けることが必要。 ・自然ではウマノスズクサをもう少し残し背を高くして、ジャコウアゲハがここで見られる、そして蜜源植物も見られるような自由研究の広場みたいにしてはどうか。 ・地下水位が地表から 6m ということは、かなり人為的コントロールを継続しないとけないだろう。つまり水は必要だが、ここで水があるせせらぎを強引に作るというのは長い目で見て難しいのではないかと。 	 	
ポストイトへの記載内容				
過去は？	<ul style="list-style-type: none"> ・松林（雑木林） ・保水性の無い土地。 ・野イバラがあった。 ・部分的に湿地帯があった。 ・整備当初、出来る限り自然を残して整備を行った。 	生物環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・かすみの森公園上流水路には川ガニ、ウナギが生息している（上流端の上村古泉が避難場所となっている）。 	
現在	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキューのメッカ。 ・遠足でよく利用されている。 ・現状でも満足度は高い。 	希望など意見	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内を「多目的エリア」と「自然エリア」に分けて整備する。 ・「多目的エリア」はバリアフリーとし、利便性を上げる。保育所や介護施設の利用者がこれからも利用できる様に整備すべき。 ・「自然エリア」は蝶の森として整備しては？（案内板の設置、自由研究の場） ・「自然エリア」に吸蜜植物を植える。 ・堤体の草（ウマノスズクサ）に生息するジャコウアゲハの保護。 ・堤体の除草を部分的に（または、少し長く残して）除草する。 	
水路について	<ul style="list-style-type: none"> ・かすみの森公園に水を流すとポンプアップが必要。ただしコストがかかり、自然再生とは異なるのでは？ 			
その他				

第1回 開発霞ワークショップ

○各班の意見 【4班】

参加メンバー	集約意見（発表内容）	ワークショップ状況	
<p>【4班】 愛媛大学 三宅さん（班長） 自然と共に生きる会 相原さん 重信中学校 池川さん 上村自治区 石丸さん 松山河川国道事務所 関谷さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は霞のところに桑畑があり、公園のあたりには雑木、松が生えていて、あまり子供たちの遊ぶ場所ではなかった。ただし、古泉から新泉あたりの水路ではウナギやモクズガニ、ドジョウ、ナマズなどを獲っていた。 ・現状は地元の人はあまり使わないが、松山など市街地からの利用者が多く、きれいなトイレがあり、好評。 ・バーベキューなどでにぎやかだが、ゴミの問題がある。 ・水路にゴミを捨てていくので、水門にゴミが溜まっていて、昔のようにウナギを獲る雰囲気ではない。 ・5月あたりの田に水を入れる時期には水が無くなってしまいうので、水環境という意味ではあまり魅力的でない。 ・人を呼ぶとしたら、ウナギやナマズが来るというようにすれば、人の目を引き付けられるだろう。 ・実用的な竹を少し持っていけるというのがあれば、地元の人の参加も望めるのではないか。 ・現在子供は、ため池でブラックバスを釣っており、あまり生き物でここで遊んでいるという状況ではない。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">メンバーによる意見交換 三宅班長による意見発表</p>	
ポストイットへの記載内容			
過去は？	<ul style="list-style-type: none"> ・昔も瀬切れはあった。 ・木の橋があったが、洪水で流れていた。 ・鮎が上がっていた。 ・泉は水が非常に冷たかったので、どちらかといえばため池で遊んでいた。 ・小さな松の木が多かった。 ・水路はあった。 ・公園整備は平成初期。 ・昔は上に新泉があった。 ・水門ではなく、土のうを積んでいた。 ・ウナギはいた。 ・昔はプールが無かったので、森の木泉で泳いでいた。 	水路について	<ul style="list-style-type: none"> ・水路が深くて子供たちに（大人でも）危険。
		生物環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートで緑が切れる。水門も（緑を）切ってしまう。 ・中学生が主にため池でブラックバスを釣っているが、水路周辺では生き物で遊んでいる状況はない。
		希望など意見	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を作るのはだめ。 ・公園に魚がいたら遊びたい。子供が喜ぶと思う。 ・竹、砂利など生活に使えるものがあればいい。（地元のため、実用的なものがある） ・魚やドジョウでもいれば、人が呼べる。
現在	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に来る子供は地域外から来る。（周辺に子供がいない・少ないのだろう） ・川、水路、泉を埋めた。魅力がなくなった。 	その他	